

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式											
E112K008		体育実技 (球技) (Physical Education Practice)																	
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員													
必修	1	3	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 大塚 道太 E-mail dohtsuka@oita-u.ac.jp 内線 7627													
授業の概要	本授業では、ゴール型種目のバスケットボールとネット型種目のバレーボールを取り扱う。その種目の運動特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などについて理解する。その上で、実技授業を通して、その種目に必要な基本的技能を身に付ける。また、中学校学習指導要領 保健体育編の球技についての理解を深め、球技の授業づくりに必要な指導計画の作成方法や、ICTの活用方法についても理解する。																		
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	中学校学習指導要領 保健体育編の球技の内容を理解する																		
目標2	バスケットボールの運動特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解する																		
目標3	バスケットボールに必要な基本的技能を身につける																		
目標4	バレーボールの運動特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解する																		
目標5	バレーボールに必要な基本的技能を身につける																		
目標6	学校体育の球技の授業づくりについて、その指導計画を作成する																		
目標7	学校体育の球技の授業におけるICTの活用方法について理解する																		
目標8																			
目標9																			
目標10																			
授業の内容																			
1	オリエンテーション(授業の進め方と評価についての説明など)、球技の特性について																		
2	バスケットボール 運動の特性や成り立ち・技術の名称や行い方などについて、小学校体育のボール運動ゴール型について																		
3	バスケットボール ボール操作(シュート、ドリブル、パス)について																		
4	バスケットボール ボールを持たないときの動き(空間に走り込むなどの動き)について																		
5	バスケットボール ボールを持たないときの動き(空間を作り出すなどの動き)について																		
6	バスケットボール ボールを持たないときの動き(空間を埋めるなどの動き)について																		
7	バスケットボール まとめ(ゲームの行い方と実施)について																		
8	バレーボール 運動の特性や成り立ち・技術の名称や行い方などについて、小学校体育のボール運動ネット型について																		
9	バレーボール ボールの操作(パス、サービス)について																		
10	バレーボール ボールを持たないときなどの動き(定位置に戻るなどの動き)について																		
11	バレーボール ボールを持たないときの動き(連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防)について																		
12	バレーボール ボールを持たないときの動き(連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防)について																		
13	バレーボール まとめ(ゲームの行い方と実施)																		
14	学習指導要領における球技の内容について、球技の指導計画の作成とICTの活用について																		
15	まとめ<これまでの球技の授業課題とこれからの在り方について>																		
ラ ア ク ニ テ ン イ グ レ ブ	A:知識の定着・確認	実技、小テスト、チームやグループでの話し合い、発表				工 夫 そ の 他 の													
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	教科書や配布資料等について必要に応じて予習する(15h)。																	
	事後学修	授業の学習内容の理解深めるために教科書や配布資料を復習する(10h)。学習した技能について練習する(5h)。																	
教科書	文部科学省「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編」東山書房、2018、ISBN978-4-8278-1560-3																		
参考書	参考書は指定しない。授業の中で適宜紹介をする。																		
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10							
	小テスト	40%																	
	指導計画の提出	10%																	
	最終課題	50%																	
すべての小テストと課題の合格と指導計画の提出を単位取得の条件とする。																			
注意事項																			
備考	実技をとまなう授業時は、体育館シューズ、運動に適した服装を準備すること。																		
リンク	URL																		